

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	工業		生物基礎	2	澤野
担当者(担当クラス)		澤野(1組～4組)			
この科目を履修するための条件や準備					
教科書・ノートを必ず用意すること。 日常生活の中で生物に触れる機会を増やし、生物について考えること。					
この科目のねらい 目標					
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。					
具体的な指導方法					
ノートに板書の内容を記入させ、教科書にある問題を随時解かせる。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
7 実教 生基 314 高校 生物基礎 新訂版			なし		
評価方法					
定期考査(年間5回)・平常点(授業態度・提出物・宿題の取り組みなど)で総合的に判断する。					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで ※4. 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
教科書	10～25・37P	第1章	第1節	生物の多様性と	①多様な生物とその先祖 ②細胞の構造と働き
			第2節	細胞とエネルギー	①代謝とエネルギー
II. 1学期期末考査まで					
教科書	26～37P	第1章	第2節	細胞とエネルギー	②酵素 ③光合成 ④呼吸 ⑤ミトコンドリアと葉緑体の起源
III. 2学期中間考査まで					
教科書	40～57・73P	第2章	第1節	遺伝情報とDNA	①ゲノムと遺伝子 ②DNA研究の歴史 ③DNAの構造
			第2節	遺伝情報の分配	①細胞分裂とDNA
IV. 2学期期末考査まで					
教科書	58～73P	第2章	第3節	遺伝情報とタンパク質	①遺伝子とタンパク質 ②タンパク質の合成 ③遺伝子の発現
V. 学年末考査まで					
教科書	76～87・113P	第3章	第1節	体内環境	①体内環境と恒常性 ②体液とその働き ③体液の調節～腎臓と肝臓～